

2023 年 11 月 30 日

視神経脊髄炎スペクトラム障害治療薬 UPLIZNA® 台湾で上市

三菱ケミカルグループの田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役：辻村明広、以下「田辺三菱製薬」）は、連結子会社である台田薬品股份有限公司（本社：台湾 台北市、総経理：朱宏祥/Tony Chu、以下、「台田薬品」）が、視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）治療薬「UPLIZNA® for Intravenous Infusion 100mg」（以下、「ユプリズナ」、一般名：イネビリズマブ（遺伝子組換え）、日本製品名：「ユプリズナ® 点滴静注 100mg」）について、このたび、台湾において上市しましたので、お知らせします。

田辺三菱製薬は、アムジェン社（本社：アメリカ・カリフォルニア州、以下「アムジェン」）から 2019 年 10 月に本剤を導入しました*。

台湾では、2021 年 11 月に NMOSD が希少疾患に指定されており、田辺三菱製薬は 2022 年 9 月にユプリズナの輸入販売承認を受け、上市準備を進めてまいりました。

ユプリズナは、NMOSD に対する新たな作用機序を有する薬剤であり、投与間隔が半年に 1 回という利便性から、患者さんのライフスタイルにあわせた治療を可能とします。台田薬品は、新たに中枢神経領域の製品ラインナップを拡大することで事業基盤を強化し、ユプリズナを再発予防期の NMOSD 患者さんに新たな治療選択肢としてお届けします。

なお、日本では既に NMOSD 治療薬として 2021 年 3 月に承認を取得し、同年 6 月に上市しています。

田辺三菱製薬は、NMOSD と闘う一人でも多くの患者さんへ治療の選択肢を届けることで、生活の質を高められるよう努めていきます。

*以前は Viela Bio/Horizon Therapeutics でしたが、Amgen 社が買収しました。

お問い合わせ先
三菱ケミカルグループ
コーポレートコミュニケーション本部
大阪コーポレートコミュニケーション部
TEL: 06-6205-5119

◆参考◆

■ ユプリズナについて

ヒト化抗 CD19 モノクローナル抗体製剤であり、抗体を産生する形質芽細胞や形質細胞を含む B 細胞に発現する CD19 というタンパク質に結合し、CD19 陽性 B 細胞を循環血液中から速やかに除去する作用を持っています。NMOSD 治療薬として、米国および EU ではアムジェンが、また中国ではアムジェンの提携先が、それぞれ承認を取得しています。

■ 台田薬品（台田薬品股份有限公司/ Tai Tien Pharmaceuticals Co., Ltd）について

台田薬品は 1987 年に台北市に設立され、ヘルベッサ[®]やコンコール[®]（日本名：メインテート[®]）、リバロ[®]、カナグル[®]などを販売し、生活習慣病領域を中心に事業展開しています。さらに、シンポニー[®]とレミケード[®]の発売を機に、台湾の自己免疫疾患患者さんの治療に貢献しています。